

令和8年度 船橋市バスケットボール協会 U12 委員会

指導者研修会

司会 【副競技委員長】

1 はじめの言葉【副競技委員長】

2 役員紹介【競技委員長】

- ① 各委員長紹介
- ② 新役員自己紹介

3 今年度の活動方針【競技委員長・各委員長、部長】

- ・令和8年度活動計画
- ・方針

4 市バスケットボール協会・県U12部会 報告【競技委員長】

- ① 市協会
- ② 県U12部会 4月12日（日）指導者講習会チーム1名 登録締め切り5月末

5 諸連絡【副競技委員長】

・春季大会について 【副競技委員長】 抽選会、メンバー表・プログラム申込

○各資料の説明

- ・社体 文書取り次ぎのお願い
- ・市協会加入内規
- ・組織図
- ・2チーム以上の大会参加について
- ・移籍関係
- ・フレンドシップ大会における「合同チーム」の参加について

○その他

- ・大会協賛のお願い
※昨年度（はまや様、かんたろう様、サロン・ド・ロジエ、ブリスビート、市ばん様）その他、是非探してください。
- ・プログラム代金は予選会場で集金
- ・プログラム申込書 form で回答
- ・メンバー表 報道委員長 佐瀬 守 宛 メールで
- ・関東招待報告

6 質疑応答

7 終わりの言葉【副競技委員長】

- 規範となる船橋
 ○「強い船橋」の継続(チーム&組織力)
 ○役割分担と協力体制

【U12 委員会／組織】

- ①年度初め、各チームの指導者は役員登録を行う。
指導者は原則として船橋市バスケットボール協会に会員登録を行います。
 ・個人一般会員は 3000円 ・チーム登録費は徴収しない
- ②船橋市 U12 委員会は、船橋市バスケットボール協会の一つの委員会です。
市協会行事には積極的に参加し、運営に協力していただきます。
 千葉ジェッツが船橋市をホームタウンにします。市政や市バスケットボール協会の方針でもありますが、今年度も千葉ジェッツに協力していきますのでよろしくお願いいたします。
- ③複数指導体制を整える。指導者の都合で組み合わせを変更することはありません。学校行事での変更は考慮しますので、必ず競技委員長に相談して下さい。
- ④年度初めの指導者講習会には、市内全指導者が、本委員会の意思統一と共通理解をはかっていきます。
- ⑤抽選会には、必ず指導者が出席して下さい。(男女別・チーム1名)
 やむを得ず欠席する場合は、事前に競技委員長に連絡をして下さい。その場合、決定事項には一任していただきます。保護者等の代理出席は必要といたしません。会場の都合上、役員以外は各チーム1名の参加にして下さい。
- ⑥登録済みのチームが事情で参加できない場合も、抽選会前に競技委員長に報告して下さい。
- ⑦春季市民大会は、さざ波大会予選の出場権をかけた大会となります。男子7、女子6が船橋支部の枠となっています。県大会の結果から、男子は+1チーム参加となります。※変更の可能性あり
- ⑧秋季市民大会は、船橋カップと県 U12 秋季大会の出場権をかけた大会となります。船橋カップは男女上位6チームが参加することになります。県 U12 秋季大会は、男子7、女子6が船橋支部の枠となっています。さざ波大会予選でベスト4に入るチームがあると、そのチーム数分枠が増えます。※変更の可能性あり
- ⑨新人戦を除く市内大会の全ては 前大会 Best 8 をシードとし、組み合わせを作ります。新人戦については、シードを作らずにオープン抽選とします。
- ⑩審議事項が発生した場合は委員長会議を開き、それを受けて競技委員長が決定します。
 特に協会として行動する場合は、必ず報告・連絡・相談をして下さい。
- ⑪指導者への各大会の案内・結果報告等は、ホームページからダウンロードして下さい。チームへの大会プログラム発送は従来通り、市内学校間集配システムを利用します。定期的にHPを確認して下さい。
- ⑫各種大会の1チームの参加費について、春季・秋季・新人は5,000円、フレンドシップ・近藤運輸機工 CUP は3,000円 ※春季・秋季・新人のプログラム代は400円になります。
- ⑬前期・後期リーグ戦を行います。
 前期は、さざ波予選に出られなかった選手を対象に(6/20, 21, 27 予備 7/12)リーグ戦を行います。後期は県 U12 秋季大会に出られなかった選手を対象に(10/31, 11/7, 8, 15)近藤運輸機工 CUP を行います。
 春秋大会後、日程調整等を行いますので、会場確保へご協力をお願いします。
- ⑭市外在籍の子がベンチ入りする場合は、必ず競技委員長まで報告をお願いします。※別紙参照
 春・秋に関しては、市外の子はオンザコート2となる。
- ⑮1月の県大会の1位のチームに全国大会又は関東大会出場権が与えられます。2～5位のチームは1位のチームが出場する大会次第で決定します。(本年度は、千葉県主催で関東大会が行われるため、千葉県は4チーム出場となる。)
- ⑯JBA コーチライセンスの取得をお願いします。全国大会はD級ライセンスが必要です。また、県大会のベンチでは必ずコーチがライセンス ID を首からさげ、指揮をとります。

⑰市内大会等で2チーム以上出場させることを認めます。※別紙参照

⑱フレンドシップ特別ルール ※別紙参照

【チーム・指導者・競技選手】

① 子供たち・指導者にも傷害保険をかけてください。「後遺障害含む」が大会参加条件にもなっています。
(個人の任意保険またはチームとし、スポーツ傷害保険・行事保険等に加入しておくことが望ましい。)

② チーム、競技者は、原則日本協会に登録を行います。

詳しくは、県協会 HP から「チーム加盟・競技者登録について」を参照してください。また、県指導者研修会資料も確実に目を通してください。

③ 年度始めに、市協会へのチーム登録及び U12 委員会へのコーチ登録を行って下さい。同時に U12 委員会役員 となっていただきます。

④ コーチ登録 (U12 委員会役員登録) がない指導者の、ベンチ入りは認めません。

※チーム代表者は例外。コーチ登録していない管理職や保護者が入る場合もあるため。

コーチ登録された者は、プログラムの競技役員欄に名前を載せます。(4名まで)

→変更がある場合には、試合当日にエントリー変更をしてください。

⑤ 年度内(4月～3月)の指導者の変更、選手の移籍等はいかなる場合も、必ず競技委員長に連絡・相談してください。※別紙参照

移籍先チームで県の大会に参加するには、各大会のメンバー表の送信締め切り日(申し込み期限)に、移籍の承認が得られていなければ、大会に参加できません。選手の移籍は県協会の承認が必要となります。申請書を出してから承認までに、2週間かかりますので、余裕をもって手続きをしてください。

⑥ 選手の二重登録(複数のチームで活動することを含む)は禁止します。何よりも指導者自身が周知しておいてください。特に新人戦は、安易なチーム合体や選手移動は認めません。

⑦ 大会は、原則10人以上の登録選手が必要となります。ただし、普及育成の観点から、8人しかいない場合でも出場は可能です。

登録者	大会当日	試合成立
8人	8人	○
8人	7人	×
9人	8人	×

また、怪我や病気の為、試合成立人数に満たなくなった場合でも参加は認めます。その場合、試合は予定通り行いますが、記録上は20-0とします。エントリー変更は、会場責任者・相手チームに報告をしてください。

⑧ 協会主催行事・協賛・販売促進に全面的に協力していただきます。

⑨ 県外・市外の私的大会の参加は禁止します。(私的とは、県U12部会で承諾されていないものを指す) 県外等の練習試合では連絡の際に必ず確認をして、不透明な場合は、競技委員長に相談して下さい。ペナルティの対象となる場合があります。(表彰物があると×。練習試合形式のものは○。)

⑩ 会議等に遅れないこと。(時間厳守) どうしても間に合わない場合については、必ず委員長に連絡を入れて下さい。(期日確認の徹底)

⑪ 選手の服装について確認をお願いします。

・ソックスは全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。ソックスは見える状態で見なければならない。

・その他、インナーやリストバンド、ヘアゴム等は、ユニフォームと同色が望ましい。

【マナー】

① 会場提供校(チーム)に迷惑をかけない配慮が必要です。朝・帰りに必ず会場責任者に挨拶をしましょう。

- ②保護者とは、十分なコミュニケーションを図り、互いに行き違いのないように努めて下さい。指導方針等の説明をしっかりと行いましょう！！お互いに当たり前と思わない。
- ③指導者・保護者・選手、それぞれがモラルを大切にして三位一体になるように努力しましょう。
- ④指導者・保護者（チーム関係者）のIDカードの着用をして下さい。（防犯）

【その他】

①監督、コーチのマナーについて

県大会以上のレベルの試合では服装にも気をつけてください。品格の千葉県

② 大会メンバー表の記載について。（4名まで）

コーチ欄には、試合中に指揮をとる方の名前を入れます。代表者では、試合の指揮はとれません。

③大会マナー

県レベルの大会において、マイクロバスで行ったり、会場がわからないので学校に電話をしたりという事例がありました。

→ マイクロバスで行ってはいけないということではなく、会場に駐車できないということ。

→ 電話については、会場校の学校は全く対応していない。

④関東レベルの招待大会は、報告の義務があります。県HPから事務局へメールで報告。

→ 大会が終わったら速やかに競技委員長と県事務局に報告をします。怪我など起きた場合も最近、挨拶のできない指導者が多くなったとのこと。例えば招待大会や関東大会などに行った際には、挨拶を忘れないこと。これは招待試合に行った時も同様で、大会関係者には、到着の報告と帰りの挨拶をしっかりとしてください。

⑤さざ波予選会・県大会など船橋会場になる場合は、会場準備の協力をお願いします。

・大会出場チームの場合も、1名以上の協力をお願いします。

⑥若年層教員

教科指導・学級経営が本業であり部活ありきではない。周りから「部活やっているから」と言われないようにする。

【各委員会から】

総務委員長

千葉ジェッツふなばしカップ運営へのご協力をお願いします。色々な形での協力が考えられます。

(Tシャツ・広告協賛・大会役員等)

総務部長

プログラム記載の誤りについて。登録時、メールで送る際に名前と学年を間違えないでください。

→ 船橋はメール送信なので、各チームが責任をもち確認してください。県大会についても同様。前年度の選手がそのまま載ってしまうケースがあります。

・プログラム申込⇒Google formで行います。

財務部長

・財源確保に協力（プログラム・Tシャツ等の販売促進）していただきます。

（市民大会・新人大会のプログラムに協賛を募り、財源を確保する。）

・新人・春季・秋季大会の会場謝礼は会場運営費等にあてます。（2000円（領収書提出））

・チームが勝ち残っている場合の役員弁当はご遠慮ください。

青年部長

車の台数

・小学校会場は基本4台とします。会場によって停められる台数が異なるため、4台以外の場合は会場主任から各チームへ連絡。※原則、公共の交通機関。

・大会ごとに懇親会を行っています。横のつながりを深め、練習試合を組んだりするためになる話が聞けたりする場なのでぜひご参加を。

渉外部長

役員控室の使い方

- ・貴重品の管理、ごみの持ち帰り

強化委員長

船橋支部選抜チームについて

- ・船橋選抜の監督には、指導力の高い方を選任しています。練習や試合を見学して、練習メニューやバスケットの考え方などたくさんのお話をしてみてください。また、選抜スタッフ及び強化委員は自分のチームを置いて練習やエキジビション、支部交流を見ていただいています。チームからの選抜選手がいなくても、練習の見学・試合の応援等での協力をお願いいたします。
- ・ユニフォーム回収まだの方は抽選会で。

審判委員長

- ・審判資格の取得（昇級審査受験）を目指して下さい。（詳細は県審判委員会資料アップ予定）
さざ波予選・県U12秋季大会出場チームはC級以上の帯同審判が必要となります。各チームC級以上の審判員を確保して下さい。1月の県大会の予選はD級以上の帯同審判が必要です。審判委員長に派遣審判を要請した場合の負担経費は、交通費（2000円）＋昼食・飲み物（審判時のもの）＋1ゲーム500円となります。これは、指導者の都合で派遣したものです。保護者会からの徴収はいかなるものかと感じますので、上級審判の取得を意識して下さい。
- ・今年度も前期、後期の2回昇級機会がありますが、年度内の昇級は前期のみです。E級の方は前期でD級取得を目指してください。
- ・練習試合等でも、審判をする際は、レフリーカッターを着用してください。
- ・帯同審判に名前を連ねる方は、年度初めに審判登録をしてください。年度途中の場合は、必ず審判委員長に相談してください。
- ・今年度も審判講習会を年2回開催いたします。

T0 委員長

- ・テーブルオフィシャル（TO）については、日頃から責任をもって指導するとともに、試合中は席の後ろに立ち、審判と一緒に試合を運営して下さい。（ミスは子どもの責任ではない。）
- ・赤と黒のペンの準備をお願いします。消えるペン不可。

報道委員長

- ・提出物は、期日厳守で提出して下さい。遅れると集約する担当が困ります。
- ・メンバー表などのメール送信は、佐瀬報道委員長 funa.mini.s@gmail.com（個人情報です。）
- ・各提出物をデータで送るときは、RISUメール以外で送ってください。
- ・メール本文の最初に、「チーム名、男子、女子」を記載してください。
- ・市内指導者への連絡は、グループLINEで行います。異動した方は、前グループを退会し、新グループに招待してもらってください。
- ・宛名に指導者のみか保護者宛かを必ず明記してください。保護者への連絡については、各指導者から確実に連絡するようお願いいたします。

式典委員長

- ・市協会より年度末（新人戦閉会式）に優秀選手賞を授与します。春季・秋季大会でベスト4以上のチームから1名ずつ表彰します。（計 男女 各8名）

普及育成委員会

- ・リーグ戦の運営、近藤運輸機工CUPの運営、3×3、U10交流会、小中交流会などの普及をします。
- ・SAKURA FUNABASHI という船橋市を拠点に活動している3×3プロチームがあります。今後、3×3の体験会やイベント等で、関わっていくことがあります。
- ・一般の大会（大人）がある日に、小学3年生以下の試合が開催される場合があります。詳しくは市協会HPをご覧ください。

MC部長

- ・マンツーマンの基準規則をご確認ください。JBAのHPにも載っています。

令和8年4月11日

学 校 長 様

船橋市バスケットボール協会
会 長 竹 野 博
U 1 2 委 員 会
委 員 長 辻 本 修 作
公 印 省 略

社会体育団体への文書取次のごお願い（依頼）

拝啓 陽春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素よりミニバスケットボール競技運営に際し、格別のご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、近年の財政難は教育現場のみならず、私ども協会運営サイドにも及んでおります。それでも、可能な限り保護者の負担を現状ままで押さえ、支出を見直した緊縮予算をもって運営に取り組んでおります。

これまで、社会体育団体（クラブチーム）への文書連絡はその都度、郵送費をかけて行ってきましたが、昨年度も貴校をはじめ皆様のご理解・ご協力のもと、クラブチームへの文書連絡等は市集配システムを利用させていただくことができ、おかげをもちまして郵送費削減を図ることができました。ありがとうございました。

今年度も、協会ホームページを活用した「ペーパーレス」を実施しておりますが、一部（プログラム発送等）の文書につきましては、どうしてもお手数をおかけしてしまうこととなります。

はなはだ勝手なお願いで恐縮ではございますが、これまで同様、貴校職員のお一方様を集配文書受付窓口とさせていただき、クラブチーム代表者の手元に届きますよう、ご配慮のほどお願い申し上げます。

今後とも何とぞ倍旧のご支援を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

船橋市外在住・在学の選手を含むチームの市協会加入について（内規）

- 1 船橋市に練習の拠点があること。
- 2 船橋市バスケットボール協会及びU12委員会の活動方針に従うこと。
- 3 登録スタッフは、競技大会役員としていずれかの委員会に属すること。
- 4 大会参加にあたり、会場確保に努めること。

○春季・秋季市民ミニバスケットボール大会開催要項

参加資格	<ul style="list-style-type: none">・今年度、船橋市バスケットボール協会が加盟登録を認めたチームである。・原則、船橋市内在住・在学の児童であること。但し、教育的配慮として市外在住・在学の児童でも船橋市バスケットボール協会の承認を得られれば大会参加を認める。・医師の診察で異常なしと診断され、活動状況から大会出場に差し支えないと指導判断した児童である。・大会に出場することを保護者が同意した児童である。
------	---

※船橋市民大会（春・秋）は市内在住・在学・在勤の方が対象の大会であるため、本来は市外在住・在学・在勤の方は市民大会の出場はできない。但し、次の基準により教育的配慮として大会参加を認める。

- （1）強化目的で市外の選手を集めていないこと。
- （2）1つのクォーターで3人以上は船橋市内在住・在学の選手であること。

※市指導者研修会にて確認

U12 委員会
令和 8 年 4 月 1 1 日

2 チーム以上の大会参加について

◎県大会は JBA 登録チームとして参加することになるので、2 チーム以上に分けての参加はできない。

◎県大会以外の市協会が関係している大会については 2 チーム以上に分けての参加を可能とする。

【2 チーム以上で大会参加する場合の条件】

・指導者、審判がいる。

※できれば複数名ずつ。体調不良等の対応で困らないようにしたい。

・会場確保の努力をする。

※たくさんチームは参加させるが会場は取れない。そういうチームが多くなると大会運営が圧迫されますのでご協力をお願いします。

・上位大会につながる春季、秋季大会については、2 つとも勝ち抜いたとしても上位大会へは 1 つしか進めないことを了承すること。

・大会中の指導者の入れ替えはできないことを了承すること。

※帯同審判は入れ替え等 OK。管理職の両方のベンチ入りも OK。メンバーの申し込みの段階でしっかり誰がどっちのベンチに入るか確認しておく。

U12 委員会組織

R8 4. 1 1

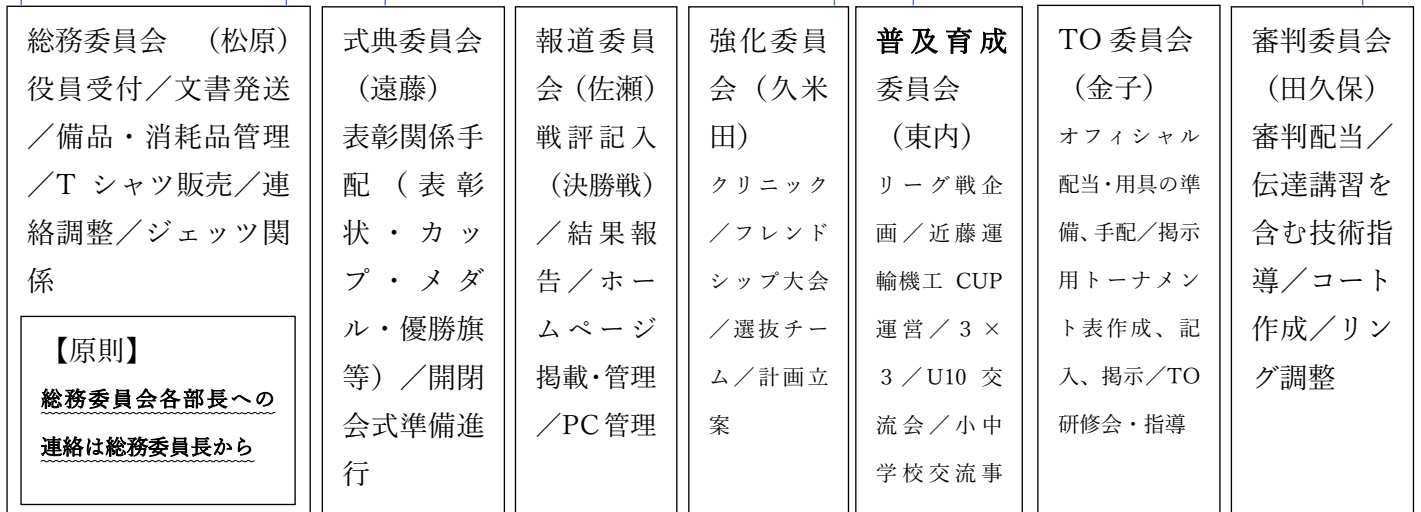
- ◎効率良く
- ◎知恵を出し合っ
- ◎子ども達のために

辻本競技委員長
協会／渉外／決裁／研修会運営／諸手続き

感染症、事故、怪我、移籍
については直接辻本へ連絡



大熊・大川副競技委員長 (委員長の補佐)
協会／渉外／決裁／研修会運営／諸手続き



・様々な質問や相談については、各委員長、部長もしくは、LINE グループ長へ連絡してください。

U12 カテゴリーの登録および移籍の考え方について

■ミニバスの理念の継承

U12 カテゴリーでは、これまで、日本ミニバスケットボール連盟(以下、ミニ連)をはじめ、各都道府県ミニ連の関係者が中心となって、単一校・単一チームを基本とし、どの小学校でもミニバスケットボール(以下、ミニバス)ができるような環境整備を目指して、U12 世代のバスケットボールの普及に努めてまいりました。それに伴い、2018 年 12 月末時点で、男女合わせて約 9,000 弱のチームが JBA に加盟登録をして活動しております。

2018 年度からは「U12 カテゴリー部会/日本ミニ連」として、これまで日本ミニ連が推進してきた普及の理念を尊重しながら、引き続き U12 世代におけるバスケットボールの普及に取り組んでおります。

■現行規程の課題と変更内容

以下 2 点の主な事情を踏まえ、U12 カテゴリー部会では登録および移籍について検討を重ね、時代背景や環境に即した規程とするための改定案をまとめました。

1. 少子化の影響

【課題点】 単一校・単一チームや、近隣校で合体したチームでは選手を集めることが難しくなっている、等

【改定後】 一定の条件の下での登録の自由を容認し、希望するチームへの加入を可能とする。

※U12 カテゴリー登録運用細則を定める。

2. 移籍ができないことの問題

【課題点】 暴言・暴力・人間関係等のトラブルなどの問題があっても、移籍が制限されていたため、我慢して続けるかバスケットボールを辞めるかのどちらかしかなかった、等

【改定後】 特別な事情があれば、チーム間の移籍を認める。

※U12 カテゴリー移籍運用細則を定める。

注) 今回の変更は、特別な事情がある選手の移籍を認めるもので、この規程を悪用して強化目的や勝利至上主義のもとに移籍することを促すものではありません。

■U12 カテゴリーにおける登録・移籍に関する規程について(再確認)

今回の登録・移籍に関わる規程の変更は、決して、これまでの枠組みと活動を全面的に否定するものではありません。例えば、これまで小学校区単位で編成されていたチームは、これまで同様、小学校区単位で選手を募集して活動することができます。さらには、新たな枠組みの中で活動することも可能になります。

また、今回の登録・移籍に関わる規程の変更は、強化目的や勝利至上主義を促すものでもありません。例えば、大会での勝利を目指すために、他チームの有力な選手を自分のチームに移籍させて戦おうとするチームと、その指導者は、U12 世代に必要な競技の普及と選手の育成に取り組んでいるとは言えません。勝利を第一優先として強化に走るチームや指導者が増えてしまう場合には、勝利至上主義を助長するものとして全国やブロックの競技会の在り方について考えることや、改めて指導者に対する罰則規程の必要性も検討していかなければならないと考えます。

フレンドシップ大会における「合同チーム」の参加について

(1) 趣旨

あくまでも少人数のチームによる単独編成ができないことの救済措置であり、勝利至上主義のためのチーム編成であってはならない。なお、合同チームで参加する場合は、下記の条件を満たしていることが必要である。

(2) 条件

- ①船橋市バスケットボール協会が加盟登録を認めたチームである。
- ②合同チームを構成するチームの指導者・保護者の了承を得られている。
- ③8人以下のチーム同士であること。
- ④大会後は合同チームを解散し、各チームにおいて部員確保に努める方向性であること。

(3) 合同チーム結成までの流れ

- ①大会の申し込み締め切り日までに、競技委員長へ連絡する。
- ②締め切り後、編成会議にて合同チームを結成する。
(参加メンバー：競技委員長、希望したチームの指導者)

(4) その他

- ・合同チームを希望するチームが1チームだった場合は、合同チームを結成することができないため、参加することはできない。

-
- ★新人、春季、秋季大会において、5人以上8人以下のチームのオープン参加を認める。合同チームでの参加は認めない。
 - ★規定人数を下回り、試合が成立していない場合でも、スコアの内訳は記載する。

船橋市バスケットボール協会 U12 委員会 新行事について

○普及発展強化の観点から、以下の行事を追加したい。

- 1 4年以下の交流戦
- 2 3×3 5年交流会
- 3 3×3 4年交流会

☆船橋では5年以下のフレンドシップ、6年の3×3はあるものの、4年以下の行事や3×3の取り組みが薄い状況である。多忙な1年間の中でうまく組み込むためにも、公設体育館が連続で取れている日の夕方以降の時間帯を中心に取り組みを行いたいと考えている。

案

- 1 4年以下交流会 7月26日(日) @市内小学校体育館
- 2 3×3 5年交流会 7月31日(金) @アリーナ (中学のクリニック後 19:30頃まで)
- 3 3×3 4年交流会 6月6日(土) @運動公園 (春季準決勝リーグ後 19:30頃まで)

以上